

2015年度(平成27年度) 県内温室効果ガス排出量

2015年度(平成27年度)における県内の温室効果ガス総排出量は、前年度比で7.0%減少、基準年度(2013年度(平成25年度)比で、6.9%減少していました。

なお、温室効果ガス排出量の約90%を占める「エネルギー起源二酸化炭素排出量」の各部門での排出状況は以下のとおりです。

【産業部門】

電力使用量の減少や電力の二酸化炭素排出係数の改善(㉔0.516㉕0.523⇒㉖0.496kg-CO₂/kWh)等に伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で12.1%減、基準年度(H25)比で10.7%減。

【民生家庭部門】

電力使用量の減少や電力の二酸化炭素排出係数の改善、都市ガス使用量の減少等により、二酸化炭素排出量は前年度比で8.4%減、基準年度比で7.8%減。

【民生業務部門】

電力使用量の減少や電力の二酸化炭素排出係数の改善、都市ガス使用量の減少等により、二酸化炭素排出量は前年度比で7.2%減、基準年度比で4.1%減。

【運輸部門】

ガソリンや軽油の使用量の減少により、二酸化炭素排出量は前年度比で5.0%減、基準年度比で8.7%減。

県内温室効果ガス排出量

(単位: 万t-CO₂)

区 分	2011年度	2012年度	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度			
					構成比	前年度比	基準年度比	
温室効果ガス排出量 合計	736	767	781	782	727	100%	-7.0%	-6.9%
二酸化炭素	698	728	741	742	686	94.3%	-7.6%	-7.5%
エネルギー起源	672	703	715	716	660	90.8%	-7.8%	-7.7%
産業部門	134	123	115	117	103	15.6%	-12.1%	-10.7%
民生家庭部門	208	224	230	232	212	32.2%	-8.4%	-7.8%
民生業務部門	122	143	155	160	148	(※)22.5%	-7.2%	-4.1%
運輸部門	208	212	215	207	196	29.8%	-5.0%	-8.7%
非エネルギー起源	26	26	26	26	25	3.5%	-2.4%	-1.6%
メタン	9.2	8.8	8.5	7.9	8.3	1.1%	5.0%	-2.6%
一酸化二窒素	6.6	7.2	7.2	6.6	6.2	0.9%	-5.9%	-13.1%
HFC等4ガス	22	23	24	26	27	3.7%	4.8%	11.8%

(注)合計及び比率は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

(※)当該欄の構成比は、エネルギー起源二酸化炭素排出量に対する各部門の排出割合を表しています。

